

この度は、スーパーデューティーをお買い求め頂きまして誠にありがとうございます。  
この日本語説明書と英文マニュアルをよくお読み頂いた上でお使いください。

スーパーデューティーは、3つのファクトリーセットを内蔵したビッグフット、パワーフルポートなどの高出力R/C用に開発された商品です。

☆3つのファクトリーセットとノバック・スマートブレーキ2を装備

ユニットには、過電流防止装置が内蔵されており、正常使用下での過電流から本体を守ります。超大容量BECにより高出力、ハイスピードサーボにも対応し、誤動作防止回路は発熱を抑え、よりスムーズな制御を実現致しました。なお、バッテリーの残量が少なくなっても正確な制御が可能です。その他にも、メンテナンス性に優れた外付けパワーワイヤー、パワーキャパシター、ON/OFFスイッチ、インプットハーネスとより便利になりました。

### スペック

サイズ 44.5×55.1×21.6mm  
 重量 114g  
 入力 6-14cells(1.2V/cell)  
 最大電流 (前後進) 400A/180A  
 最大ブレーキ電流 160A  
 内部抵抗 0.0011Ω  
 B.E.C.電圧 6.0V (DC)  
 B.E.C.電流 3.0A  
 14Gワイヤー  
 1モーター/6cells.....無制限 (容量範囲内)  
 1モーター/10,12,&14cells...無制限  
 (容量範囲内、540サイズ)  
 2モーター/6cells.....10T以上 (540サイズ)  
 2モーター/10cells.....12T以上 (540サイズ)  
 2モーター/12,&14cells.....12T以上 (540サイズ)  
 プログラム1: 前進100%、後進100%  
 プログラム2: 前進100%、ブレーキ  
 プログラム3: 前進100%、後進25%

### ☆使用上の注意

- 1.スーパーデューティーは水や水分を嫌います。また、基盤や外部に改造を加えないでください。故障の原因となります。
- 2.使用時以外は必ずバッテリーを外しておいてください。
- 3.バッテリーは6-14CELLで使用ください。
- 4.極性を間違えない様に配線してください。逆接をするとスーパーデューティーが壊れます。
- 5.スーパーデューティーには、ショックダイオードは使用できません。
- 6.スーパーデューティーには工場にてヒートシンクが装着されていますが、最高の性能を維持するために通風の良い場所に装着してください。
- 7.パワーキャパシターは純正の物を必ず取り付けてください。(＃1560)
- 8.使用時には、必ず送信機側よりスイッチを入れ次にアンプを入れます。切る時は逆にアンプから先に切ります。
- 9.ターミナル部等でのショートを防ぐ為、各配線は収縮チューブで絶縁してください。
- 10.本体に対して瞬間接着剤を使用しないでください。シンナー等でのケース洗浄によりケース表面を侵すことがあります。

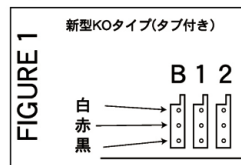
### ノバック純正オプションパーツ

#1560	パワーキャパシター	¥400	#978	モーターキャパシター	¥780	#968	14Gワイヤー 3本セット	¥580
#980	12Gワイヤー 3本セット	¥780	#1562	専用レシーバーワイヤー 114mm	¥680	#1563	専用レシーバーワイヤー 228mm	¥780

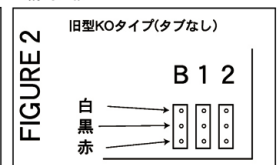
### STEP.1

スーパーデューティーの受信機ワイヤーが使用するレシーバーと同じ極性になっているかご確認ください。  
もしも、違っている場合は図1～3を参考に正しく極性の順番を入れ替えてください。

《図.1》



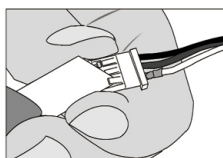
《図.2》



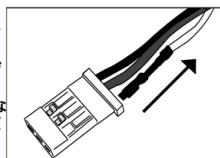
### 《図.3》 新型サーボワイヤーのコネクター・ピンの交換方法

\*フタパへはそのまま使用できますが、サンワ又はKOの旧型受信器には極性が現在と違うものがあります。プロポ側の説明書と共によくご確認ください。

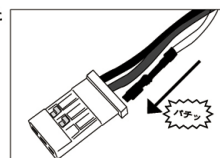
#### ワイヤーの引き抜き方



1.引き抜きたいワイヤーのハウジングのツメ部分をカッターの刃などを用いて持ち上げます。(この時、ツメを折らないように注意してください。)



2.ツメ部分を持ち上げたままワイヤーを引き抜きます。



3.上図のようにコネクターをしっかりと差し込みます。(逆接はとも危険です。故障の原因となりますのでよくご確認ください。)

ワイヤーの差し込み方

### STEP.2 装着方法

装着においては出来るだけパワーコード、レシーバーコードから離して装着してください。

なお、装着位置は通風を考慮し両面テープで固定してください。パワーキャパシターもシャーシまたはメカデッキに両面テープで固定します。もしも、パワーキャパシターにへこみやパワーダウンが見受けられた場合には、早期の交換をお勧め致します。オン/オフスイッチはプラスチック部分の穴を利用してビスでメカデッキなどに固定します。

受信器のアンテナはモーターワイヤー、バッテリー、サーボからなるべく離れた位置にマウントし、短く切らずに立ちあげてください。

### STEP.3 接続方法 (図4参照)

1) 付属の0.1mFモーターキャパシターを3ヶモーターに装着します。

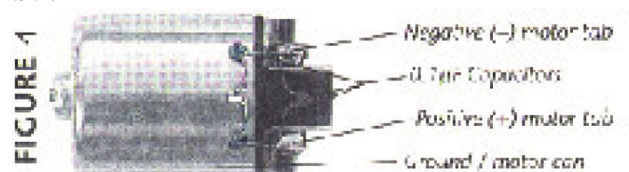
英文の図を参考にして、プラスのモータータブからカンアース、マイナスのモータータブからカンアース、プラスとマイナスのモータータブどうしの3箇所ハンダ付けを行います。

2) スーパーデューティーには、ショックダイオードは使用できません。絶対に取り付けしないでください。

3) モーターのシンカクは0度以上にセットしてください。これは、後進時に過度な電流が流れるのを防ぐ為です。もしも守られていないとアンプが発熱しモーターが傷みます。モデファイトモーターを最適条件で使用する場合はシンカクを0度に設定してください。

4) シンカクが前進側に大きく付いたストックモーターは、お勧めできません。

(図4)



### STEP.4

スーパーデューティーは大変パワフルなスピードコントローラーです。トラブルの多くには接触不良が考えられます。接続には高電流対応の2Pコネクターやヨーロッパコネクターを用い確実なハンダと絶縁処理を行ってください。

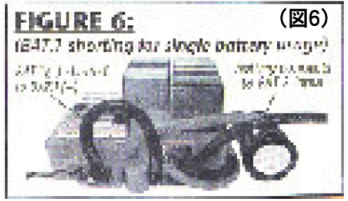
もしも、バッテリー側に(入力側)タミヤ型コネクターをお使いの場合は、超高出力モーターには使用しないでください。発熱によりコネクターが溶けてしまう事があります。



1. スーパーデューティーは、2つのバッテリーを接続できる様に設計されています。2つバッテリーパックを使用する場合は7.2Vまたは8.4Vバッテリーとなります。なお、それ以上の電圧の場合はバッテリー1つに限ります。

☆2つのバッテリーを接続する場合

- A. 同じ能力の7.2Vまたは8.4Vのバッテリーを用い極性に注意して、1つ目のバッテリーを入力1のコードに接続します。
  - B. 次に2つ目のバッテリーを入力2のコードに接続します。
  - ※この場合、モーター用出力は7.2Vバッテリーを2本使用していれば14.4Vとなります。
- モーターに対して7.2Vで使用したければ、モーターの接続を直列(SERIES)にして使用ください。



☆1つのバッテリーのみを接続する場合(図6参)

- A. BAT1(-)より出ているブラックワイヤーを2-3インチ (2.5-7.5cm) の所でカットします。
- B. コードをカットし先端の被服を約4mm取り除きハンダ付けします。  
なお、本体ターミナルへのパワーワイヤーの交換時には、基盤に熱をかけ過ぎダメージを与えない様に注意してください。
- C. BAT1(+)より出ているレッドワイヤーのハンダを溶かしコネクターごとターミナルから引き抜きます。
- D. BAT1(-)より出ているブラックワイヤー<2-3インチ (2.5-7.5cm)残した>をBAT1(+)にハンダ付けします。(英文図6)
- E. 極性に注意してBAT.2側に使用する動力用バッテリーを取り付けます。
- F. 8.4V以上のバッテリーを使用する場合は、スーパーデューティーのレーザー用ワイヤーにある赤コードを取り外し、絶縁をした上でレーザーに別電源を取り付けてください。

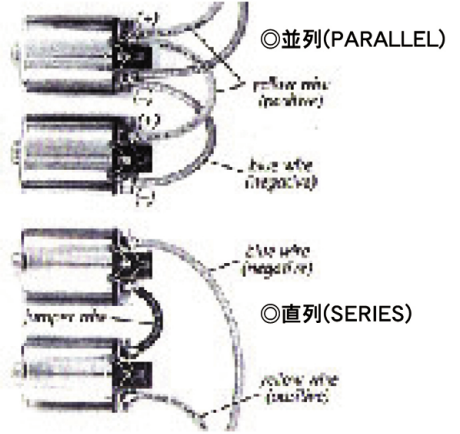
2.モーター接続

☆モーターを1つ使用する場合

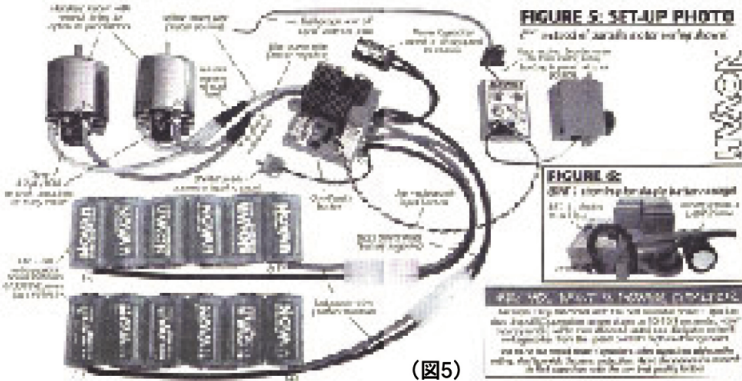
- A. スーパーデューティーとモーターを出力コードで接続するために無理のない長さでカットし先端の被服を約4mm取り除きモーターにハンダ付けします。
- B. 青色コードはモーターのマイナスへ接続してください。
- C. 黄色コードはモーターのプラスへ接続してください。

☆モーターを2つ使用する場合

- ◎並列(PARALLEL)で使用する場合ピックアップやポートなどのハイパワーモデルに最適です。  
※使用用途によってはモーターの極性を変えなければならない物もあります。使用前に必ず適切な極性をご確認ください。



- ◎直列(SERIES)で使用する場合低速で走行時間が長い物に適しています。



STEP.5 送信機のセットアップ

- A). HIGH ATVまたはEPAは最大にセットしてください。
- B). LOW ATV、EPAまたはATLは最大にセットしてください。
- C). EXPONENTIALは0にセットしてください。
- D). スロットルのリバース・スイッチはどちらの位置でもかまいません。
- E). スロットル・トリムはミドルポジションにセットしてください。
- F). 送信機側の電子トリガーの割合は前進50%ブレーキ50%でセットします。
- G). 送信機のトリガーは前進1/2、ブレーキ1/2でセットします。

送信機の切角確認方法

このステップは、最高のパフォーマンスを得るのに必要なもので、調整をしなくてもアンプは正常に働きます。

STEP.6 初期設定

- 1). 送信機のスイッチをオンにします。
- 2-3). スーパーデューティーのボタンを押し続けたままでスイッチをオンにします。
- 4-5). レッドLEDの点灯を確認後、素早くボタンを離します。
- 6). 送信機のスロットルをハイポイントに移動しグリーンLEDの点灯を確認します。
- 7). 送信機のスロットルをブレーキエンド・ポイントに移動しグリーンLEDの点滅を確認します。
- 8). 送信機のスロットルをニュートラル・ポイントに移動しレッドLEDの点灯を確認し完了です。  
1から8の作業を連続的に行ってください。途中で一定以上の時間が経つと入力エラーとなる場合もあります。

スロットルモード選択

- 1. 送信機のスイッチをオフにして、スーパーデューティーのレーザーワイヤーを受信機より取り外します。
- 2. スーパーデューティーのスイッチをオンにします。
- 3. この状態でワンタッチ・セットアップボタンを押し続け、一度LEDが消えた状態からグリーンとレッドが点くまで数秒待ちます。
- 4. グリーンとレッドが点いたらすぐに、押し続けているボタンを離します。するとLEDが一度消え数秒の間に1から3回点滅します。  
この回数により現在選択されているスロットルモードを知ることができます。  
1回点滅：プログラム1前進100%、後進100%  
2回点滅：プログラム2前進100%、ブレーキ  
3回点滅：プログラム3前進100%、後進25%
- 5. 選択モード確認後すぐに再度ワンタッチ・セットアップボタンを短く押すことでスロットルモードを変更することが出来ます。また、連続して幾度か押すことで連続変更することも出来ます。
- 6. モード選択し終えて約3秒間何もしなければグリーンとレッドLEDが交互に点滅した後グリーンとレッドが点灯します。  
この際、受信機に接続され送信機がオンになった状態ならばレッドのみが点灯します。

※別電源

- スーパーデューティーに別電源を使用する場合は、6V(1.2V-5cells)バッテリーを受信機へ取り付けます。
- ※本体レーザーコレクター差込口の右側にあるラバーキャップを取り外すことでプラスとマイナスの2つのピンが出て来ます。これは別売りのクーリングファンを接続するためのジャックです。

- ☆その他、ご質問等がございましたらイーグル・サービスカウンター 0532-61-1554 までお気軽にお問い合わせ下さい。
- ☆修理サービスにつきましては、イーグル・サービスカウンターで行っていますのでお問い合わせ下さい。
- ☆製品保証につきましては、一部アメリカ国内保証と異なりますが、ほぼノバック保証に準じて処理させていただきます。

保証依頼の場合はディーラーステッカーと購入時のレシートが必要になりますので、ステッカーはアンプの側面に貼りレシートは大切に保管しておいて下さい。